中国・四国地方

名前

問1　瀬戸内海に面した愛媛県などの地域に見られる気候の特色と、その特色を活かした農業の状況について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2022年 佐賀県公立入試 類似）

1. 年間降水量が約1300mmと比較的少なく、温暖な気候と水はけの良い傾斜地を活かしたかんきつ類などの果実栽培が盛んで、農業産出額の約4割を果実が占めている。
2. 冬に季節風の影響で雪が多く降る気候を活かし、夏でも涼しい標高の高い地域において、キャベツなどの高原野菜の栽培が盛んに行われている。
3. 年間降水量が2500mmを超える多雨な気候を活かして、平野部を中心にビニールハウスを用いた野菜の促成栽培が盛んで、農業産出額の半分以上を野菜が占めている。
4. 夏の季節風の影響により年間を通じて降水量が多く、広大な平野を活用した大規模な稲作が盛んで、農業産出額の半分以上を米が占めている。

問2　香川県をはじめとする瀬戸内沿岸地域において、古くから「ため池」が数多く作られてきた理由として、地形と気候の観点から説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2026年 千葉県公立入試 類似）

1. リアス海岸が続く地形で大規模な河川が発達しにくく、不足する工業用水を補うために海水を貯めておく必要があったから
2. 南から吹き込む湿った風が四国山地にぶつかることで、年間を通じて大量の降雨があるため、その水を有効に管理するため
3. 北側の中国山地と南側の四国山地によって湿った風が遮られるため、年間降水量が少なく水不足に陥りやすいから
4. 季節風が直接吹き込む広大な平野部において、大規模な河川が頻繁に氾濫するため、その水を一時的に貯める必要があったから

問3　1980年代の本州と四国の境界付近では、鉄道が港まで延びて連絡船に接続していましたが、1990年代後半になると瀬戸大橋（瀬戸中央自動車道）が南北を貫通し、かつて港へ向かっていた特定の鉄道線路が消滅しています。このような変化が起きた背景として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 群馬県公立入試 類似）

1. 自動車の通行量が増加して一般道路が混雑したため、交通を分散させる目的で、鉄道連絡船の運航頻度を大幅に増やして港の駅を拡張したから。
2. 瀬戸大橋の開通後、海運の重要性が再評価されたことで、港の機能を強化するために「坂出港駅」のような臨海鉄道の駅が新設されたから。
3. 高速道路が開通して本州と四国が陸路で結ばれたことにより、それまで鉄道連絡船との接続を担っていた鉄道路線が役割を終えて廃止されたから。
4. 本州と四国の間での物流を強化するため、これまで利用されていた高速道路を廃止し、より大量輸送が可能なフェリーへの切り替えが行われたから。

問4　岡山県の産業の特色について、土地の利用状況と生産品目の組み合わせとして正しい説明はどれですか。（2020年 徳島県公立入試 類似）

1. 太平洋に面した温暖な気候を利用して、平野部では茶やみかんの栽培が行われ、臨海部ではオートバイの製造が盛んである。
2. 広大な平野部では大規模な機械化農業による稲作が行われ、山間部では冷涼な気候を活かしたキャベツの栽培が盛んである。
3. 臨海部では石油化学や製鉄などの重化学工業が集積し、丘陵地では白桃やマスカットなどの果実栽培が行われている。
4. 火山灰が堆積した広大な台地でサツマイモや茶の栽培が行われ、臨海部ではロケットの打ち上げ施設などが整備されている。

問5　香川県の地形図において、平野部に無数の小さな池が描かれている「讃岐平野」の地理的特徴について述べた文として、正しいものを次のうちから選びなさい。（2025年 茨城県公立入試 類似）

1. 筑後川の下流に位置し、干満の差を利用して農業用水を取り入れる「クリーク」と呼ばれる水路が発達している。
2. 信濃川などの大河川の河口に位置し、水はけの悪い低湿地を排水して作られた広大な穀倉地帯である。
3. 木曽三川の合流点付近に位置し、洪水から集落を守るために周囲を堤防で囲った「輪中」が点在している。
4. 瀬戸内の気候に属し、降水量が少ないため、農業用水を確保するための「ため池」が発達している。

問6　1988年に、岡山県と香川県を島々を伝って結ぶ「本州四国連絡橋（児島・坂出ルート）」が完成しました。これにより本州と四国が陸路で直接結ばれ、物流や人の移動が劇的に変化することとなりました。この時に開通した橋の名称として正しいものを選びなさい。（2018年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 瀬戸大橋
2. 明石海峡大橋
3. 青函トンネル
4. しまなみ海道

問7　香川県において「ため池」が数多く作られてきた理由として、気候や地形の背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2018年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 大規模な河川が頻繁に氾濫を起こすため、洪水による被害を一時的に食い止める遊水地が必要だったから。
2. 冬に季節風の影響で大量の雪が降るため、春先の雪解け水を貯蔵して工業用水に転用する必要があったから。
3. 山地の影響で年間降水量が少なく、大きな河川も限られているため、水分不足を補う必要があったから。
4. 火山灰が堆積したシラス台地が広がっており、地表に水が溜まりにくいため、人工的な貯水施設が必要だったから。

問8　西日本の地図において、中国地方の日本海側に面している県のうち、東側に位置する鳥取県のすぐ西側に隣接している県はどこですか。（2019年 北海道公立入試 類似）

1. 岡山県
2. 広島県
3. 島根県
4. 山口県

問9　愛媛県南西部の坂下津から戎ヶ鼻にかけてのように、リアス海岸が広がる地域では海岸のすぐ近くまで山が迫っています。このような地形的制約がある中で、この地域の斜面で広く行われている農業の特色について述べたものはどれですか。（2020年 千葉県公立入試 類似）

1. 日当たりの良い斜面を段々畑として整備し、みかんなどのかんきつ類の栽培が行われている。
2. 冷涼な気候を活かし、山の斜面を牧草地として利用した乳牛の放牧が行われている。
3. 土砂が堆積してできた平坦な土地を利用して、大規模な機械化による小麦の栽培が行われている。
4. 海岸沿いに広がる砂丘を利用して、スプリンクラーを用いたらっきょうやスイカの栽培が行われている。

問10　2016年の香川県における外国人延べ宿泊者数は約25万人を記録し、2012年から4年間で大幅な伸びを見せました。この期間の動向や統計の詳細について述べた文として、適切なものを選択してください。（2018年 香川県公立入試 類似）

1. 延べ宿泊者数は増加しているが、その構成比では欧米諸国が台湾や韓国を上回っている。
2. 宿泊者数は急増しているが、宿泊日数で見ると1人あたりの平均宿泊数は全国平均を大きく下回っている。
3. 2016年の宿泊者数は2012年と比較して3倍を超える急増を見せており、台湾からの観光客が中心となっている。
4. 2016年の宿泊者数は2012年の3倍以下に抑えられており、特定の地域に偏らないバランスの良い増加となっている。

問11　瀬戸内海を挟むように位置する2つの山地について、北側の中国地方に連なる山地と、南側の四国地方の中央部を走る山地の名称を正しく組み合わせたものはどれですか。（2020年 長野県公立入試 類似）

1. 北側：筑紫山地、南側：九州山地
2. 北側：四国山地、南側：中国山地
3. 北側：中国山地、南側：四国山地
4. 北側：飛騨山脈、南側：木曽山脈

答え合わせ・解説

問1	答え 1 年間降水量が約1300mmと比較的少なく、温暖な気候と水はけの良い傾斜地を活かしたかんきつ類などの果実栽培が盛んで、農業産出額の約4割を果実が占めている。	瀬戸内海沿岸の地域は、北側の中国山地と南側の四国山地によって季節風が遮られるため、年間を通じて降水量が少なく温暖な気候が続くという特徴があります。愛媛県では、この乾燥しやすく温暖な気候に加え、日当たりの良い傾斜地を有効に活用することで、みかんをはじめとする果実の生産が極めて盛んになっています。実際の統計においても、農業産出額に占める果実の割合は約40.2%に達しており、米の約10.9%や野菜の約16.4%と比較して非常に高いのが特徴です。なお、年間降水量が極めて多い選択肢は、高知県などの太平洋側の気候を説明したものです。
問2	答え 3 北側の中国山地と南側の四国山地によって湿った風が遮られるため、年間降水量が少なく水不足に陥りやすいから	瀬戸内地域は、北を中国山地、南を四国山地に挟まれた地形的な特徴を持っています。このため、夏に太平洋側から吹く湿った風や、冬に日本海側から吹く湿った風がそれぞれの山地で遮られてしまい、地域内の年間降水量が少なくなります。特に農業が盛んなこの地域では、安定的に農業用水（灌漑用水）を確保するために、人工的に水を貯める「ため池」が発展しました。
問3	答え 3 高速道路が開通して本州と四国が陸路で結ばれたことにより、それまで鉄道連絡船との接続を担っていた鉄道路線が役割を終えて廃止されたから。	1988年の瀬戸大橋（瀬戸中央自動車道）の開通などにより、本州と四国の間の交通手段は、鉄道連絡船を介した移動から、高速道路を利用した自動車や直通列車による陸上交通へと大きく変化しました。この結果、坂出港駅付近のように、かつての連絡船との接続を主目的としていた一部の鉄道路線はその役割を失い、廃止されることとなりました。これは交通網の整備が地域のインフラ構造を劇的に変えた一例です。
問4	答え 3 臨海部では石油化学や製鉄などの重化学工業が集積し、丘陵地では白桃やマスカットなどの果実栽培が行われている。	岡山県は南部が瀬戸内海に面しており、大規模な港湾設備を活かして原料を輸入し、石油製品や鉄鋼、自動車を生産する臨海型の工業が発展しました。これと並行して、県内の中央部に広がる丘陵地では、瀬戸内特有の温暖な気候を背景に、白桃やブドウ（マスカット）といったブランド力の高い果樹農業が確立されています。他の選択肢は、それぞれ北海道や東北、静岡県、鹿児島県の特徴を記述したものです。
問5	答え 4 瀬戸内の気候に属し、降水量が少ないため、農業用水を確保するための「ため池」が発達している。	香川県の讃岐平野で見られる多数の池は、降水量が少ない気候に対応するために作られた「ため池」です。他の選択肢にある「クリーク」は福岡県・佐賀県の筑紫平野、「輪中」は岐阜県・愛知県などの濃尾平野で見られる特徴であり、地域の気候や地形条件によって、水の管理方法が異なることを理解しておく必要があります。
問6	答え 1 瀬戸大橋	1988年に開通した瀬戸大橋は、岡山県（本州）と香川県（四国）を結ぶ道路・鉄道併用橋です。この開通により、それまで船舶に頼っていた本州と四国間の交通が劇的に改善されました。同じ1988年には北海道と本州を結ぶ青函トンネルも開通していますが、こちらは橋ではなく海底トンネルです。明石海峡大橋は1998年に開通した兵庫県と淡路島を結ぶ橋です。
問7	答え 3 山地の影響で年間降水量が少なく、大きな河川も限られているため、水分不足を補う必要があったから。	香川県の讃岐平野周辺は、四国山地によって南からの湿った空気が遮られるため、雨が降りにくい気候（瀬戸内の気候）にあります。また、急峻な山地が多く河川の距離も短いため、一度降った雨がすぐに海へ流れてしまうという地形的制約もありました。これらの理由から、安定的な農業経営を行うために「ため池」を築いて水を貯める仕組みが発達しました。洪水対策の遊水地は低湿地に見られる特徴であり、シラス台地は九州南部、積雪の利用は日本海側の地域で見られる特徴です。
問8	答え 3 島根県	中国地方の日本海側には東から鳥取県、島根県の順に県が並んでいます。鳥取県と混同されやすいですが、西側に位置するのが島根県であることを地図上の位置関係から把握しておくことが重要です。
問9	答え 1 日当たりの良い斜面を段々畑として整備し、みかんなどのかんきつ類の栽培が行われている。	リアス海岸付近は平地が非常に少ないため、人々は山が海に落ち込む急斜面を切り拓いて段々畑を作り、土地を有効活用してきました。温暖な気候に加え、海からの反射光や水はけの良さが果樹栽培に適しているため、みかんを中心としたかんきつ類の栽培（果樹園）が盛んです。地形図においても、海岸線から山側にかけて果樹園の地図記号が密集している様子が見て取れます。
問10	答え 3 2016年の宿泊者数は2012年と比較して3倍を超える急増を見せており、台湾からの観光客が中心となっている。	香川県における外国人延べ宿泊者数は2012年から2016年にかけて3倍を超える非常に高い伸び率を記録しており、統計資料でも「急増」として示されています。この成長を牽引しているのはアジア圏からの観光客であり、特に2016年時点で全体の26.5%を占める台湾の影響が顕著です。宿泊者数が3倍以下であるという理解や、欧米諸国がアジア圏を上回っているという記述は、当時の統計データとは異なります。
問11	答え 3 北側：中国山地、南側：四国山地	瀬戸内海は、北側を本州の中国山地、南側を四国地方の四国山地に挟まれた地形的な特徴を持っています。中国山地はなだらかな山々が続くのが特徴であり、四国山地は険しい山地が連なっています。これら2つの山地の位置関係を把握することは、地域の気候や産業を理解する上での基礎となります。